

ようこそわがまちへ

町外から大山町に転入した元気な人を紹介します。



池田幸恵さん（退休寺・34歳）
元重量挙げの選手で、介護福祉士の資格を持つ、大山スキーパトロール隊員です

徳島県板野郡板野町出身で、大山スキー場管理組合のスキーパトロール隊員をしている池田幸恵さんにお話を聞きました。

Q・大山町に住むようになったきっかけは何ですか。

池田 徳島県で介護福祉士として働きながら、冬の間は休日を利用して、県内のスキー場でスキーパトロールの手伝いをしていました。3年前、大山スキー場管理組合が、女性パトロールを募集していると聞き、若いうちしかこの仕事はできないと思い、応募しました。それから半年は大山町に住み込んで働き、

残り半年は徳島県で介護関係の仕事をしてながら過ごしました。こちらで働くことがきっかけで、町内の方と今年6月に結婚することに。スノーボードという共通の趣味もありましたし。

Q・まちの印象は？

池田 嫁ぎ先がすごく山奥にあると聞いて、どんなところだろうと思いましたが、ちゃんと平地でした。ただ、近所にスーパーがないのが不便だなと感じました。最近庭の空き地を耕し、家庭菜園をつくり、野菜を自給自足できるように奮闘中です。野菜づくりは初めてなので

お義母さんに教えてもらいながら、ナス、ピーマン、ゴーヤ、ホウレンソウなどをつくっています。

こちらに来てプロッコリーが芯までおいしいことに感激しました。今まではスーパーで買った海外産の硬い物しか知らなかったのです。釣りによく行きますが、魚もおいしいですね。ハタハタ、コチ、シイラ、それにトビウオも初めて食べました。初めて料理したときはトビウオの羽を思わず広げてしまいました。

Q・仕事にはすぐ慣れましたか？

池田 方言が全くわからず困りました。パトロール隊員に方言講座と称して、いろいろ教えていただき、なんとか理解できるようにになりました。スキー場でケガをした人の救助をしますが、四国など県外のスキーヤーも多く、仕事し始めたころは病院の場所がすぐ教えてあげられなかったりもしました。

今の目標は冬にスキー、ボードなどの資格をとり、春からは福祉関係の仕事のための資格をとること。それに、いろいろな人と知り合いたいです。

編集後記

秋晴れの10月15日、大山秋の一斉清掃に参加しました。大山周辺（榎水・奥大山も含みます）で約600人に参加していただきました。ありがとうございました。

収集したごみは約650キロ。春の清掃時に比べて多少ごみの量は少なく感じましたが、車道沿いの側溝には空き缶など車から投げ捨てたと思われるごみがあちらこちらに！大山の景色を守る最低限のマナーは守りたいものです。



ごみを拾うボランティアのみなさん



大山町広報 11月号 No.20

◆発行：大山町役場
◆編集：企画情報課

鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地

TEL 0859-54-3111

FAX 0859-54-2702

大山町ホームページ

<http://www.daisen.jp/>

◆印刷：有限会社米子プリント社



古紙配合率100%
再生紙を使用しています。



PRINTED WITH
SOYINK

この印刷物は
大豆インキを使用しております